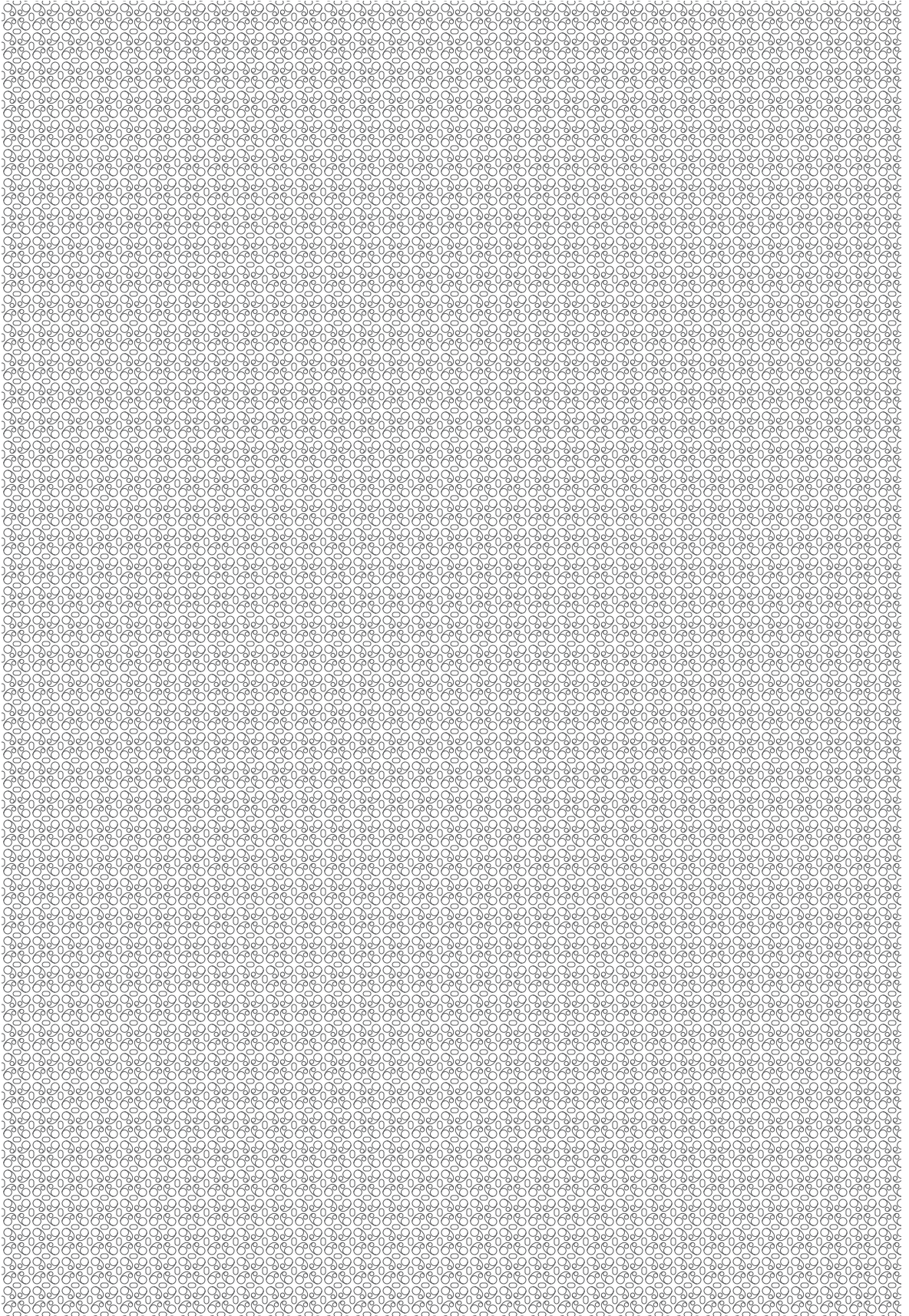


2026年度入学試験問題

世界史

(試験時間 14:50～15:50 60分)

1. この問題冊子が、出願時に選択した科目のものであることを確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙には、記述解答用紙とマーク解答用紙の2種類があります。
3. 解答は、必ず解答欄の枠内に記入もしくはマークしてください。解答欄以外への記入およびマークはすべて無効となります。特に、記述解答用紙の採点欄に解答を記入しないよう、注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、一度マークした箇所を修正する場合、しっかりと消してください。消し残りがあると、解答が無効となることがあります。また、消しくずを残さないでください。
5. 解答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。また、マーク解答用紙を記述解答用紙の下敷きに使用しないでください。
6. 解答用紙には、必ず受験番号と氏名を記入・マークしてください。未記入や記入・マークミスなどがあった場合は、当該科目の解答は無効になります。



【歴史総合】

I 下記の問いに答えなさい。解答は、マーク解答用紙の所定の欄に正しくマークしなさい。(資料には、省略したり、改めたりしたところがある。)(20点)

A 多摩地域で歴史を学ぶ森久保さん・大塚さん・加藤さん・豊口さんのグループは、八王子と世界の歴史との関わりを調べる中で、古道「絹の道」と資料1を見つけた。

古道「絹の道」



資料1 「絹の道」の解説

八王子の中心部からやりみず鑓水①を通して横浜へ至る浜街道は、輸出用の生糸の流通路となり、後に「絹の道」と呼ばれるようになりました。

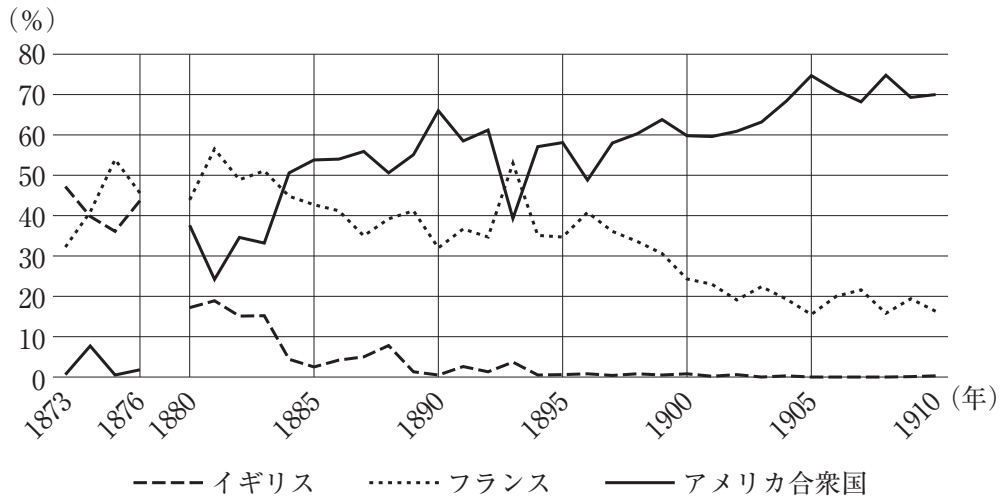
安政6年(1859年)の横浜開港②により、そうと桑都八王子はいち早く新しい時代を迎えました。やと谷戸に囲まれた中で農業や養蚕などを生業としていた鑓水は、外国人遊歩規定で定められた横浜から40キロメートルの圏内に位置することから、日本の養蚕に興味のあった西洋人から注目されました。(中略)

明治時代に入ると、八王子と横浜を結ぶ浜街道は、生糸商人や西洋人が行き来するようになりました。南多摩郡鑓水村の商人は、生糸の売買で大きな富を得て、沿道の大塚山にどうりょうどう道了堂いしどうろうを建てたり、諏訪神社に石燈籠を寄進したりするなど、文化的な功績も残しました。さらに、生糸商人が横浜で見聞きした西洋の新しい文化や横浜での出来事を鑓水へ、そして、八王子の中心部へ伝えていきました。③

(八王子市生涯学習スポーツ部文化財課『はちおうじ物語』)

問1 下線部①に関連して、森久保さんは、明治時代における日本の生糸輸出相手国の変化を示す次のグラフを見つけた。このグラフに関して述べた下の文あ・いについて、その正誤の組み合わせとして正しいものを、さらに下のa～dの中から一つ選びなさい。

グラフ 日本からの生糸輸出に占める各相手国の比率



(1877～1879年はデータなし。1892年までは数量、1893年以降は金額に基づく。『横浜市史』により作成)

- あ スエズ運河会社の株式をエジプトから取得したことで、イギリスはフランスよりも多くの生糸を日本から輸入するようになった。
- い ポーツマス条約が結ばれた年、アメリカ合衆国は日本から積み出される生糸の70パーセント以上を輸入していた。
- a あ — 正 い — 正 b あ — 正 い — 誤
- c あ — 誤 い — 正 d あ — 誤 い — 誤

問2 森久保さんは、1880年代にアメリカ合衆国向けの生糸輸出が急増した背景にも着目して、調べたことを次のメモにまとめた。文章中の空欄 **ア** ・ **イ** に入る語句の組み合わせとして正しいものを、下のa～dの中から一つ選びなさい。

森久保さんのメモ

- ・1860年代に起こった **ア** に際し、戦費調達のため高率の輸入関税が課されたことを機に、アメリカ合衆国ではヨーロッパからの絹織物輸入に代わって、国内での絹織物産業が成長した。その工場は、大消費地ニューヨークに近い東海岸に集積していた。
 - ・アメリカ合衆国は絹織物の原料である生糸を輸入に頼っていたが、当時東アジアから東海岸へ貨物を運ぶにはインド洋と大西洋を経由する必要があったため、輸送コストが問題となっていた。
 - ・1880年代になると、すでに開通していた **イ** の利用が本格化した。これにより太平洋経由で東海岸に生糸を運べるようになったことが、アメリカ合衆国の絹織物産業の急成長を促した。
- a ア — 南北戦争 イ — パナマ運河
b ア — 南北戦争 イ — 大陸横断鉄道
c ア — アメリカ=スペイン（米西）戦争 イ — パナマ運河
d ア — アメリカ=スペイン（米西）戦争 イ — 大陸横断鉄道

問3 下線部②に関連して、大塚さんは東アジア諸国が開国に際して結んだ条約に関する資料を集めた。文章中の空欄 **ウ** に入る都市の位置を示した地図中のあ～うと、横浜開港の時期および資料2・3を古いものから年代順に配列したX～Zの組み合わせとして正しいものを、下のa～iの中から一つ選びなさい。

資料2

第一款 朝鮮国ハ自主ノ邦ニシテ日本国ト平等ノ権ヲ保有セリ（後略）

第十款 日本国人民朝鮮国指定ノ各口ニ留在中若シ罪科ヲ犯シ朝鮮国人民ニ交渉スル事件ハ^{すべ}総テ日本国官員ノ審断ニ帰スヘシ（後略）

資料3 ※著作権の関係により、掲載ができません。

_____ ・ **ウ** _____

(江上波夫監修『新訳世界史史料・名言集』)

(注1) 一族。

地図



横浜開港の時期および資料2・3の順番

X 横浜開港 — 資料2 — 資料3

Y 横浜開港 — 資料3 — 資料2

Z 資料3 — 横浜開港 — 資料2

a あ — X b あ — Y c あ — Z

d い — X e い — Y f い — Z

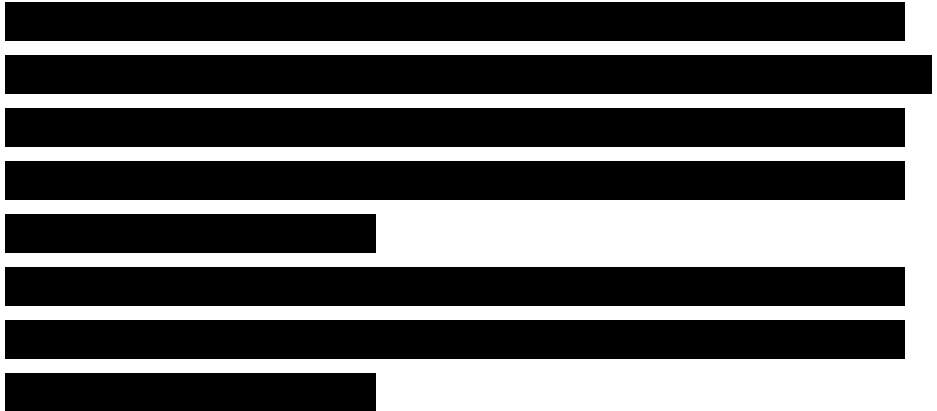
g う — X h う — Y i う — Z

問4 下線部③に関連して、明治初期の多摩地域にはさまざまな方面からヨーロッパの思想が伝えられ、自由民権運動が活発化した。加藤さんは、八王子の北の五日市で1881年に起草された憲法案（五日市憲法草案）に興味をもち、その内容と大日本帝国憲法を比較した結果を次の表にまとめた。またその内容を同時代のヨーロッパの思想と比較するために、資料4と資料5を用意した。表および資料4・5から読み取れることを述べた文として誤っているものを、下のa～dの中から一つ選びなさい。

表

項目	五日市憲法草案	大日本帝国憲法
君主の権威・ 権限	<p>(第1条) 日本国ノ帝位ハ神武帝ノ正統タル今上帝ノ子裔ニ世伝ス</p> <p>(第18条) 国帝ノ身体ハ神聖ニシテ侵ス可ラス又責任トスル所ナシ (後略)</p> <p>(第19条) 国帝ハ立法行政司法ノ三部ヲ総轄ス</p>	<p>第一条 大日本帝国ハ万世一系ノ天皇之ヲ統治ス</p> <p>第三条 天皇ハ神聖ニシテ侵スヘカラス</p> <p>第四条 天皇ハ国ノ元首ニシテ統治権ヲ総攬シ此ノ憲法ノ条規ニ依リ之ヲ行フ</p>
国民の自由・ 権利	<p>(第45条) 日本国民ハ各自ノ権利自由ヲ達ス可シ他ヨリ妨害ス可ラス且国法之ヲ保護ス可シ</p> <p>(第47条) 凡ソ日本国民ハ族籍位階ノ別ヲ問ハス法律上ノ前ニ対シテハ平等ノ権利タル可シ</p>	<p>第二十二條 日本臣民ハ法律ノ範囲内ニ於テ居住及移転ノ自由ヲ有ス</p> <p>第二十三條 日本臣民ハ法律ニ依ルニ非スシテ逮捕監禁審問処罰ヲ受クルコトナシ</p>

資料4 フランス人権宣言 ※著作権の関係により、掲載ができません。



(江上波夫監修『新訳世界史史料・名言集』)

資料5 プロイセン憲法

第4条 すべてのプロイセン人は、法律の前に平等である。身分上の特権は認められない。(後略)

第5条 人身の自由は保障される。その制限、特に拘禁が許される条件及び方式は、法律によって定められる。

第43条 国王の一身は、不可侵である。

(高田敏・初宿正典編訳『ドイツ憲法集』)

【出典】高田敏・初宿正典編訳『ドイツ憲法集(第8版)』(信山社、2020年)

- a 国帝が立法・行政・司法を総轄する点で、五日市憲法草案は、フランス人権宣言と異なる。
- b プロイセン憲法・五日市憲法草案・大日本帝国憲法はいずれも君主(国王・国帝・天皇)の不可侵を主張する。
- c 国法は人間の自由を保護すべきだとする五日市憲法草案の立場は、フランス人権宣言の主張に近い。
- d 大日本帝国憲法が法律の前での臣民の平等を明記しないことは、プロイセン憲法の影響を受けたものである。

問5 豊口さんは、自由民権運動が展開された時期の八王子の農村の状況に興味をもち、八王子市内の子安神社にある「困民党之碑」に刻まれた資料6と、民権派ら知識層を^{まるまるちんぶん}読者とする雑誌『团团珍聞』に掲載された資料7を見つけた。さらに、下線部④の背景について理解を深めるために、松方正義自身が当時の財政政策について語った資料8を用意した。資料6～8から読み取れる内容や下線部④について述べた下の文あ～えについて、波線部の正しいものの組み合わせを、さらに下のa～dの中から一つ選びなさい。

資料6 「困民党之碑」の碑文

明治十四年の松方デフレ政策により、農村は疲弊し、農民は生活の途を失^④った。かれらは各地で困民党を結成し決起していった。

明治十七年九月五日、塩野倉之助小池吉教を指導者とした多摩の農民二百^{みのかさ}余名は蓑笠をつけ、ここ西中野村子安神の森に結集した。

困民党は、さらに武蔵相模の百五十箇村が結束し、武相困民党へと大きく展開していった。

資料7 『团团珍聞』456号（1884年9月6日）に掲載された風刺画



「金の敵」

大将と思ほしきハ貧覆輪の鞍(注1)置たる野次馬に打勝り数千の勢子(注2)に
ハ貧棒(注3)を担せて者共(者ども)進めと下知(注4)を為せど脛に疵もつ
雑兵ハモーかなはじ(もうかなわじ)とや思ひけん右往左往に逃失せけり

(注1) 貧相な鞍。(注2) 狩りに際して獲物の獣を追い立てる人夫。

(注3) 「びんぼう(貧乏)」を武器の名前に見立てたしゃれ。(注4) 命令。

資料8 松方正義「各地方長官ノ延遠館集會席上ニ於ケル演説」(1882年12月)
財政ノ救治(注1)ナリ、兵備ノ拡張ナリ、決シテ偏廢(注2)ス可カラサル此
ノ如シ。今ヤ此二者ヲシテ双進併行相戻ラス(注3)、之ヲ処シテ饒然宜キヲ
得(注4)セシメンコトヲ欲セハ、蓋シ国帑(注5)ヲ増加スルノ外又タ他ニ方策
ナカルヘシ。国帑ヲ増加スルニ其法種々アリト雖モ、蓋シ税額ヲ増加スル
ノ法ニ若クハナシ。(中略)今若シ如此税額ヲ増加シ、一方ハ以テ海陸ノ
軍備ヲ皇張(注6)シテ、一方ハ以テ現今財政ノ目的ヲ変セス益々救済ノ方ヲ
進メハ是レ所謂兩全(注7)ノ策ナリト信ス。

(大内兵衛・土屋喬雄編『明治前期財政経済史料集成』)

(注1) 立て直してあるべき状態に戻すこと。

(注2) 二つのもののうち一方だけを残して一方を捨てること。

(注3) 並行して互いに矛盾しない。(注4) 十分かつ適切な状態である。

(注5) 国庫やその財貨。(注6) 拡大。

(注7) ともに完全であること。

あ 物価変動に加えて増税策がとられたため、農民の生活がさらに厳しく
なったことが、困民党の決起につながった。

い 「蜂逢ふ子」(八王子)の「貸附城」に押し寄せる困民党に対して、民
権派は同情的であった。

う 松方デフレの時期には壬午軍乱が起こるなど朝鮮半島の情勢が緊張し、
軍備拡張の気運が高まっていた。

え 不換紙幣の整理を進めた松方は、1882年に日本銀行を設立し、金本位制
による通貨供給体制を確立した。

a あ・う b あ・え c い・う d い・え

B 2015年9月に国際連合（国連）で策定されたSDGs（持続可能な開発目標）^①は現在人びとのあいだに広く浸透し、その理念にもとづいた活動が社会の各層でおこなわれている。SDGsでかけられたゴールやターゲットには環境をめぐるテーマが多数盛り込まれているが、環境問題に対する国際社会の取り組みはそれ以前からもなされてきた。その一つが1972年にひらかれた国連人間環境会議である。環境をテーマとした初めての国際会議であり、「かけがえのない地球」をスローガンに世界113ヵ国が参加した。

この会議には日本からも代表団が派遣されており、首席代表を務めた大石武一郎環境庁長官は一般演説に登壇して次のように発言した。

戦後わが国は戦争の永久放棄を宣言し、民主主義と平和主義を国の基本方針^②と定めました。そして荒廃した国土と壊滅した経済社会から立ち直り国民の福祉の向上を図るため、エネルギー産業、重化学工業を主軸として、経済の高度成長を進めることになったのであります。^③国民は20年にわたって懸命の努力をつづけ、ようやくその目標に近づいたかに見えたとき、高度経済成長の反面である深刻な環境破壊に直面することになったのであります。大気は汚れ河川は汚濁にまみれました。都市は過密化し、貴重な自然は破壊され始めました。ついに公害^④による多数の患者と死者をさえ発生するに至ったのであります。日本国民はより多くの生産、より大きいGNPが人間幸福への努力の指標であると考え、これに最大の情熱を傾けて参ったのであります。その考えが誤りであることに気がつきました。

大石は戦後の日本において大きな社会問題となった公害への反省を世界に発信し、こうした日本の経験を開発途上国^⑤によって活用されることを強く念願すると表明したのである。その後の日本は、公害防止装置などの研究開発とともに、その技術を世界各国へ普及させる取り組みを積極的に進めてきた。公害を経験した日本のこうした取り組みは、先述したSDGsの実現にむけた活動としても位置づけることができるだろう。

問6 下線部①に関連して、戦後の国際政治における国連の動向あ〜うと直接関係しないものを、次のa〜dの中から一つ選びなさい。

あ 日本の国連加盟承認

い 東西ドイツの国連加盟承認

う パレスチナをユダヤ人国家・アラブ人国家に分割する国連決議

a 第1次中東戦争の勃発

b ニクソン米大統領の中国訪問

c 日ソ共同宣言の調印

d 東方外交の展開

問7 下線部②に関連して、次のメモ1〜3は戦後日本の民主化をめぐる改革の項目を簡潔な説明とともに調べてまとめたものである。文章中の空欄 ～ に入る語句の組み合わせとして正しいものを、下のa〜fの中から一つ選びなさい。

メモ1

項目 —

説明 — 婦人参政権の付与や教育制度の改革のほか、経済機構の民主化もこのなかで求められた。

メモ2

項目 — 財閥解体

説明 — 企業間の公正かつ自由な競争を保障し、経済の民主化を進めるため、 などの法律が制定された。

メモ3

項目 — 労働三法の制定

説明 —

a — シャウプ勧告 — 不正競争防止法

— 労働組合法では労働者の団結権などが保障された。

b — シャウプ勧告 — 不正競争防止法

— 労働関係調整法により8時間労働制などが規定された。

c — 五大改革指令 — 不正競争防止法

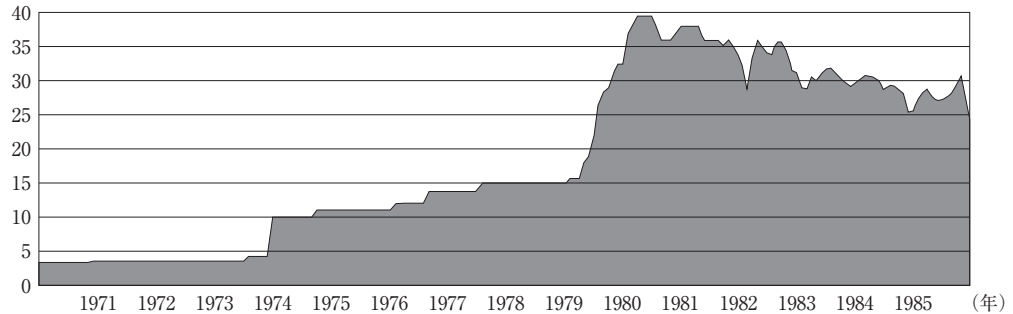
— 労働組合法では労働者の団結権などが保障された。

- d ア — 五大改革指令 イ — 独占禁止法
ウ — 労働関係調整法により8時間労働制などが規定された。
- e ア — 五大改革指令 イ — 独占禁止法
ウ — 労働組合法では労働者の団結権などが保障された。
- f ア — シャープ勧告 イ — 独占禁止法
ウ — 労働関係調整法により8時間労働制などが規定された。

問8 下線部③に関連して、下のグラフは高度経済成長期以降の原油価格の推移を示したものであり、写真はそれに関連したものである。このグラフおよび写真に関する次の説明あ〜うについて、その正誤の組み合わせとして正しいものを、その下のa〜hの中から一つ選びなさい。

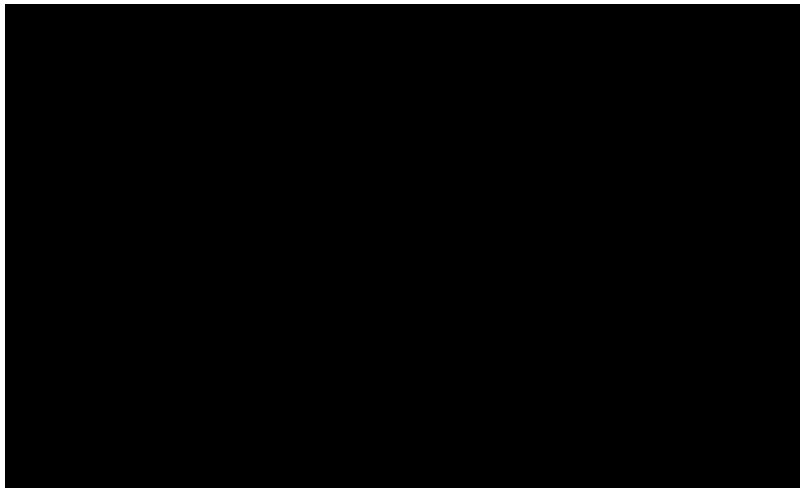
グラフ

(ドル/バレル)



(Federal Reserve Bank of St. Louis)

写真 ※著作権の関係により、掲載ができません。



- あ 1974年の価格高騰の背景として、第4次中東戦争の勃発とイスラエルを支持する国々への石油の禁輸・輸出制限の実施が挙げられる。
- い 1979年の価格高騰の背景として、イラクのクウェート侵攻を端緒とする湾岸戦争の勃発が挙げられる。
- う 写真にみられるように、オイルショックによるデフレーションと物不足への不安から、石油を原料とする紙製品の買いだめが起こった。
- a あ — 正 い — 正 う — 誤
- b あ — 誤 い — 正 う — 誤
- c あ — 誤 い — 正 う — 正
- d あ — 誤 い — 誤 う — 正
- e あ — 正 い — 誤 う — 正
- f あ — 正 い — 誤 う — 誤
- g あ — 正 い — 正 う — 正
- h あ — 誤 い — 誤 う — 誤

問9 下線部④に関連して、次の資料1・2は下のあ～えに挙げた項目のうち、どれを探究する際に適切な資料といえるか。その組み合わせとして正しいものを、さらに下のa～dの中から一つ選びなさい。

資料1

兎ニ角群馬、栃木、両県ノ間ヲ流レル渡良瀬川ト云フ川ハ、鉾山カラ流レテ、群馬県ト栃木県ト、双方ノ沿岸ノ田畑ヲ併セテ千二百余町^(注1)モアル、今日マデ拙者ノ調べタ所デハ千二百町余モアル、此位ナ地面ト云フモノガ、二年モ三年モ穀物ガ取レナイノデアル、殊ニ昨年ノ二十三年ト云フモノハ、一粒モ登^{みの}ラナイ、登^{みの}ラナイノミナラス、物ガ生ヘナイノデアル、斯^{かく}ノ如ク重大ナル事件デアルノデアル。

(「衆議院議事速記録」1891年12月25日付)

(注1) 面積の単位。

資料2

ロンドン
倫敦の町を散歩して試みに痰^{たん}を吐きて見よ。真黒なる塊りの出るに驚くべし。何百万の市民はこの煤烟^{ばいえん} (注1) とこの塵埃^{じんあい} (注2) を吸収して毎日彼らの肺臓を染めつつあるなり。我ながら鼻をかみ痰をするときは気のひけるほど気味悪きなり。

(『漱石日記』1901年1月4日付)

(注1) すすを含んだ黒い煙。 (注2) ちりとほこり。

- あ 足尾鉍毒事件の被害の実態について
 - い 足尾鉍毒事件に対する帝国議会の対応について
 - う 産業革命以降の工業化がもたらした影響について
 - え 第一次世界大戦が産業に与えた影響について
- a 資料1 — あ 資料2 — う
 - b 資料1 — あ 資料2 — え
 - c 資料1 — い 資料2 — う
 - d 資料1 — い 資料2 — え

問10 下線部⑤に関連して、開発途上国に関する次の問いを考察するための学習活動として誤っているものを、下のa～dの中から一つ選びなさい。

問い

開発途上国の多くは、いわゆる第三世界に存在している。戦後の国際社会において、この第三世界の国々はどのように連携をはかり、また行動してきたのだろうか。

学習活動

- a 1948年の米州機構結成にいたる過程と、キューバ革命によるラテンアメリカ諸国への影響について調べる。
- b 1955年にアジア=アフリカ会議が開催された背景と、同会議で打ち出された平和十原則について調べる。
- c 1955年に結成されたワルシャワ条約機構が、「プラハの春」とよばれる民主化運動にどのように関与したかを調べる。
- d 1963年のアフリカ統一機構結成にいたる経緯と、旧宗主国との関係について調べる。

【世界史探究】

- Ⅱ 次の文章A～Cを読み、下記の【設問】に答えなさい。解答は、記述解答用紙の所定の欄に正しく記入しなさい。（資料には、省略したり、改めたりしたところがある。）（24点）

A 強き王、アの王ナラム=シンは、四方世界が彼に反乱した時、イシュタル神が彼に示した愛によって、1年で9つの戦いに勝利した。そして、彼ら立ち上がった王たちを捕えた。彼が彼の町の基礎を危機から守ったことを見て、彼の町の人々は、エアンナのイシュタル神、ニップルのエンリル神、トゥトゥルのダガン神、^(a)ケシュのニンフルサグ神、エリドゥのエア神、ウルのシン神、クタのネルガル神に、彼をして彼らの町の神となるように願った。そして彼らは、^(b)彼のための神殿を建立^(c)した。

【設問】

- (1) 文章Aは、ナラム=シン王の碑文の一部である。アには、紀元前24世紀に、メソポタミアでシュメール人の都市国家を征服し、新たに覇権を確立したセム（語）系の王国の呼び名が入る。その王国を何というか。
- (2) 下線部(a)は、ここでは都市ウルクを指している。ウルク王ギルガメシュを主人公とする叙事詩を書き表すために用いられた文字を何というか。

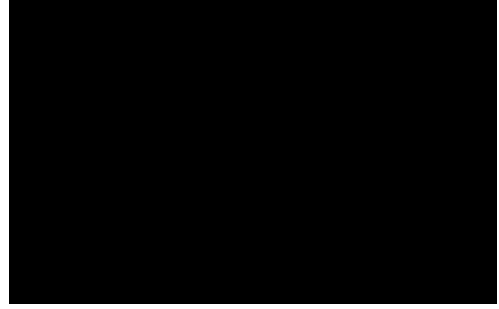
- (3) 下線部(b)に関連して、都市ウルの遺跡には、紀元前 21 世紀頃に作られた、高い基壇を特徴とするレンガ造りの大規模な建造物が残されている。①この建造物の写真を次のア～ウの中から一つ選び、記号で答えなさい。②この建造物を何と
いうか。(完全解答)

写真 ※写真ア、イ、ウは著作権の関係により、掲載ができません。

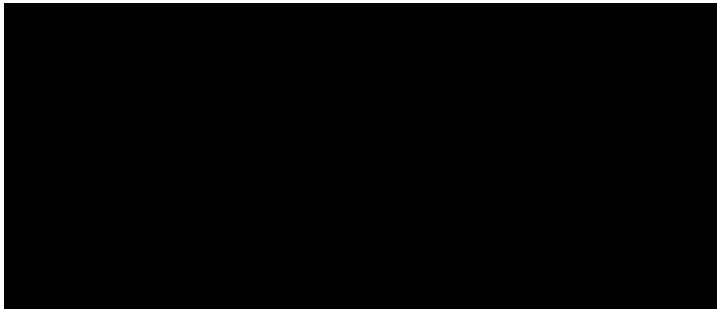
ア



イ



ウ



- (4) 下線部(c)に関連して、ローマでは、事実上の皇帝となったオクタウィアヌス（アウグストゥス）のために、元老院は「神殿を建立し、神として崇拝することを議決」したと『年代記』は伝える。この『年代記』の他に、『ゲルマニア』や『アグリコラ』などを著したことで知られる人物は誰か。

B 彼の体は^{かっぶく}恰幅がよく強健で、背も高かった。彼は豊富な^{ごい}語彙で雄弁に語り、思っていることは何でもとてもわかりやすく述べることができた。母国語だけでは十分な満足が得られず、外国語も習得するために勉学に勤しんだ。なかでも、ラテン語^(d)は普段母国語で話すのと同じくらいに精通していた。ギリシア語^(e)については、話せたというより理解することができていた。書字に^(f)励み、暇なときがあれば、字を書くことに手が慣れるようにと、書板と羊皮紙^{しんじょ}を寢所の枕元によくもち込んでいた。しかし、歳をとってから始めた無理なこの努力は、ほとんど実を結ぶことはなかった。

【設問】

- (5) 文章Bは、側近が書き記した、カール大帝（シャルルマーニュ）の事績録の一部である。文章中の「彼」はカール大帝を指す。彼の統治政策の一つに、自分の領土を管区にわけ、在地の有力者を管区の長に任命したことがあげられる。そのような管区長を何というか。漢字で答えなさい。
- (6) 下線部(d)に関連して、カール大帝の宮廷では、聖職者を主な担い手として、ラテン語と古典文化の復興が行われた。これを何というか。
- (7) 下線部(e)に関連して、文章Bが書かれた当時、これを公用語として用い、その後15世紀に滅亡した帝国を何というか。
- (8) 下線部(f)に関して、他方、古代～中世ヨーロッパには、すぐれた著作を残した支配者たちも存在した。その中の一人、ローマ皇帝マルクス=アウレリウス=アントニヌスが、ギリシア語で著した作品は一般に何と呼ばれているか。漢字3文字で答えなさい。

C 第1条 まず第一に、余はイングランドの教会^(g)が自由であるべきこと、かつその権利を完全にその諸自由を侵されることなく保持すべきことを、余及び余の相続人^(h)どものために、永久に神に承認し、かつ、余のこの本憲章をもって確認したことを諸子^{しよし}は承知されたい。

第12条 いかなる軍役代納金も援助金も、わが王国の共同の助言⁽ⁱ⁾によるのでなければ、わが王国では課されてはならない。

【設問】

- (9) 文章Cは、マグナ=カルタ（大憲章）の一部である。文章中の「余」にあたる人物は誰か。
- (10) 下線部(g)に関連して、教会批判を繰り広げたイングランドのウィクリフを異端とした公会議を何というか。
- (11) 下線部(h)に関連して、マグナ=カルタ発布の半世紀後、マグナ=カルタを無視し、重税を課した王に対し、貴族が反乱を起こした。この反乱を主導し、王を破り、国政を協議した人物は誰か。
- (12) 下線部(i)に関連して、14世紀に、フランスのフィリップ4世が、聖職者・貴族・平民の代表からなる議会を招集した。この議会を何というか。

Ⅲ 次の文章を読み、下線部(1)～(13)について下記の【設問】に答えなさい。解答は、記述解答用紙の所定の欄に正しく記入しなさい。(26点)

アラビア半島で創始されたイスラームは、東は中央アジア、西はアフリカ北部へと拡大し、さらに、インド、中国、西アフリカなどにも伝播していった。これら周辺諸地域への拡大には、それぞれの地域に特有の経緯が見られる一方、その定着・浸透プロセスには類似の現象も見出される。とくにスーフィズム (イスラーム神秘主義) が(1)イスラーム世界で大きな潮流となると、とくに民衆レベルにおいてムスリム (イスラーム教徒) 社会に大きな影響を与えた。代表的なスーフィー指導者や、預言者ムハンマドの子孫と称される人々などがイスラーム聖者とみなされ、その墓廟が地域のムスリムにとって重要な参詣地となった。イスラームの聖地はメッカ、メディナ、(2)エルサレムの3箇所であるが、各地域のイスラーム聖者廟が民衆の尊崇を受け、ある種の「聖域」として、地域統合などの面で一定の機能を担ったことも否定できない。

中央アジアのオアシス地域は、おもにゾロアスター教を信仰するイラン系のソグド人(3)を主要な住民としていたが、8世紀初頭のウマイヤ朝による軍事征服と統治を端緒とし、次のアッバース朝の統治下でイスラーム化が進んだ。中央アジア内部からイスラーム政権であるサーマーン朝が成立したことが、一つの画期とみなされる。その後、中央アジアのムスリム社会において重要な役割を担ったのはスーフィー教団、とくにティムール朝時代に教勢を拡大したナクシュバンディー教団であった。また、ティムールによって首都として建設されたサマルカンドには、(4)それ以前からイスラーム聖者の廟を中核とするシャーヒズィンダ廟群があり、ティムール朝政権によって重視された。(5)第4代君主のウルグ=ベクはそこに、(6)同時代の天文学者を祀る霊廟を建設した。

インドでは、ヴァルダナ朝の滅亡以後、地方政権が分立し、ヒンドゥー諸勢力の間(7)で抗争が展開する中、ガズナ朝などのイスラーム政権が北方から北インドに進出した。13世紀初頭には、デリーにイスラーム政権の奴隷王朝が樹立された。(8)スーフィー教団の活動もほぼ同時期に開始されたと推測される。とくに注目されるのは、13世紀から14世紀にかけて活動したニザームッディーン=アウリヤーというスーフィー指導者の墓廟の存在である。この廟は一大参詣地として機能し、ムガル帝国の時代にも尊

崇された。第3代皇帝アクバルの時代に改築されたといわれるほか、一部の皇帝一族の墓所ともなった。⁽⁹⁾インドではイスラーム政権下においてイスラームが浸透していったが、依然としてムスリムはヒンドゥー教徒に対して少数派であった。しかし、ムスリムとその宗教・文化はインド社会に顕著な影響を与えた。⁽¹⁰⁾

中国では、唐と宋の時代、インド洋の海上貿易を通じてアラブ系・イラン系のムスリムが広州や泉州に到来した。また、元の時代にはおもに陸路を介して、中央アジア⁽¹¹⁾などからイラン系・トルコ系のムスリムが移住し、定着した。明の時代には、永楽帝に仕え、7度にわたる大航海を行った宦官の鄭和など、王朝の要人として活躍するムスリムの人物も現れた。明から清の時代にかけて、中国各地に点在するムスリムのコミュニティが成長するとともに、いわゆる漢化が進展した。明の時代の末期から清の時代の初期にかけて、スーフィズムが中国にも本格的に入り、各地にスーフィー教団が形成された。これらの教団は、民衆動員力を背景に、19世紀後半の陝西・甘肅⁽¹³⁾などでのムスリム反乱にも強く関与したことで知られる。

【設問】

- (1) 11世紀後半から12世紀初頭にかけてのスナ派のウラマー（イスラーム学者）で、イスラーム諸学の完成者として知られ、後半生ではスーフィズムに傾倒してその理論化を果たしたのは誰か。
- (2) メッカで迫害にあった預言者ムハンマドは、622年にメディナに移住した。この移住は何と呼ばれるか。
- (3) ササン朝のイランにおいて編纂されたゾロアスター教の教典は何か。

- (4) サーマーン朝の首都について、その都市名と、その位置を示す次の地図中の a, b, c の組み合わせとして正しいものを、下の(ア)～(カ)の中から一つ選びなさい。

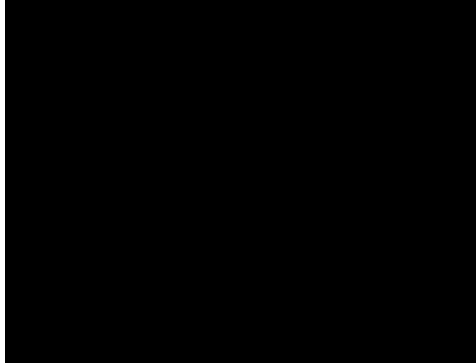


- (ア) ベラサグン - a
(イ) ベラサグン - b
(ウ) ベラサグン - c
(エ) プハラ - a
(オ) プハラ - b
(カ) プハラ - c
- (5) 15世紀初頭にティムールを訪ね、次の資料のように、サマルカンドの繁栄ぶりを記したヨーロッパ人は誰か。

この大都市、そして、その周辺の豊かさはまことに見た目にもすばらしいものである。……このように交易もさかんにして、その都をもっとも立派な町にしようと、ティムールはつとめていたのである。そして彼が遠征したところからは、その土地の大部分の男子をサマルカンドに強制移住させ、同時にいろいろな国の熟練した職人たちも連れてきた。

- (6) 次の写真は、ウルグ=ベクがサマルカンドに建設したイスラームの学院である。
このようなイスラーム世界における学院のことを一般に何というか。

※著作権の関係により、掲載できません。



- (7) これらヒンドゥー諸勢力は、クシャトリア身分の「王の子」と称したところから、総称として何と呼ばれるか。
- (8) ガズナ朝から自立した王朝で、奴隷王朝を建てたアイバクがそれ以前に将軍として属していた王朝は何か。
- (9) アクバルは、支配階層に官位を与えて等級づけを行い、それに応じて維持すべき騎兵・騎馬数と給与を定める制度を導入した。これを何というか。
- (10) イスラームの影響下に、ナーナクにより創始された、カースト制度による差別を否定する教義をもつ宗教は何か。
- (11) 唐代に広州に、宋代にはさらに泉州や明州などにも置かれた、貿易の管理を担う役所を何というか。漢字で答えなさい。
- (12) 宦官は時代により王朝の政治に関与した。2世紀後半、後漢の時代に、宦官らの専横を批判した官僚・学者に対して宦官が行った大弾圧事件を何というか。
- (13) 陝西・甘粛のムスリム反乱は、漢人官僚の左宗棠が率いる軍隊によって鎮圧された。この左宗棠や李鴻章などの漢人官僚により推進された、ヨーロッパ諸国から近代的な科学技術を導入して清の国力増強を目指す動きを何運動というか。漢字2文字で答えなさい。

Ⅳ 次の文章を読み、下線部(1)～(15)について下記の【設問】に答えなさい。解答は、マーク解答用紙の所定の欄に正しくマークしなさい。(30点)

暗黒の未来社会を描いた SF 小説『1984 年』で知られる作家⁽¹⁾ジョージ=オーウェルは、1903 年にインドのベンガル地方で生まれた。ベンガル地方は、かつてイギリス東インド会社が⁽²⁾ベンガル管区を設置したところであるが、オーウェルの父も英領インドのイギリス人官吏で、アヘン局に勤務していた。このアヘン局は、インドから清へ輸出されるアヘンの生産を管理する、⁽³⁾イギリスの東アジア進出の一翼を担う部署だった。

オーウェルは 1 歳で母や姉とともに父の祖国イギリスへ渡り、⁽⁴⁾第一次世界大戦の時期もそこで過ごした。だが 1922 年、英領インド帝国警察に就職し、同帝国の一部だった⁽⁵⁾ビルマに赴任する。しかし 1927 年に退職し、⁽⁶⁾世界恐慌の時代はロンドンやパリの貧民街で暮らした。その間、私立男子校の非常勤講師を務め、戯曲『⁽⁷⁾チャールズ 2 世』を書いて生徒たちに演じさせたこともある。他方で 1933 年には、貧民街での経験を『パリ・ロンドン放浪記』として出版し、作家デビューも果たした。

オーウェルにとって転機となったのは、⁽⁸⁾スペイン内戦に従軍したことである。彼の陣営を援助する⁽⁹⁾ソ連は内戦下のスペインで、同じ陣営に属する非共産党系組織の粛清を始めた。イギリスへ帰国後の 1938 年にオーウェルは、ソ連批判を含む『カタロニア讃歌』を刊行する。だが同年には結核療養のため⁽¹⁰⁾モロッコへ向かい、⁽¹¹⁾第二次世界大戦中もイギリスでドイツとの戦争に協力するなど、ソ連批判は一時中断した。

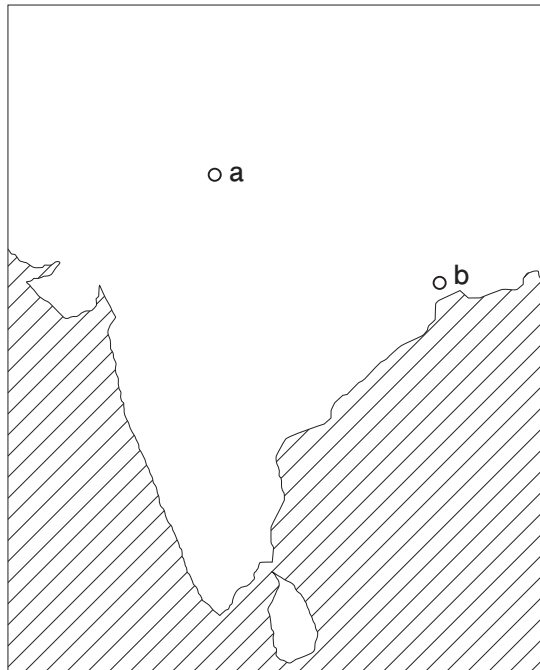
大戦終結の年である 1945 年になると、オーウェルは寓話『動物農場』を出版し、ソ連を「豚の」⁽¹²⁾ナポレオンの独裁体制になぞらえて批判する。また 1949 年には、先に述べた『1984 年』のなかでもソ連批判を展開したが、翌 50 年に病死する。しかし特に『1984 年』は⁽¹³⁾冷戦下の西側世界で広く読まれ、⁽¹⁴⁾チャーチルも「読むべき……驚くべき本だ」との言葉を残した。そしてソ連解体後、⁽¹⁵⁾21 世紀の今日も、個人の自由の制限や監視社会化に対する警鐘の書として読まれつづけている。

【設 問】

(1) 作家とその作品の組み合わせとして正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

- ① シラー－『ファウスト』
- ② ユゴー－『レ=ミゼラブル』
- ③ ドストエフスキー－『戦争と平和』
- ④ 胡適－『狂人日記』

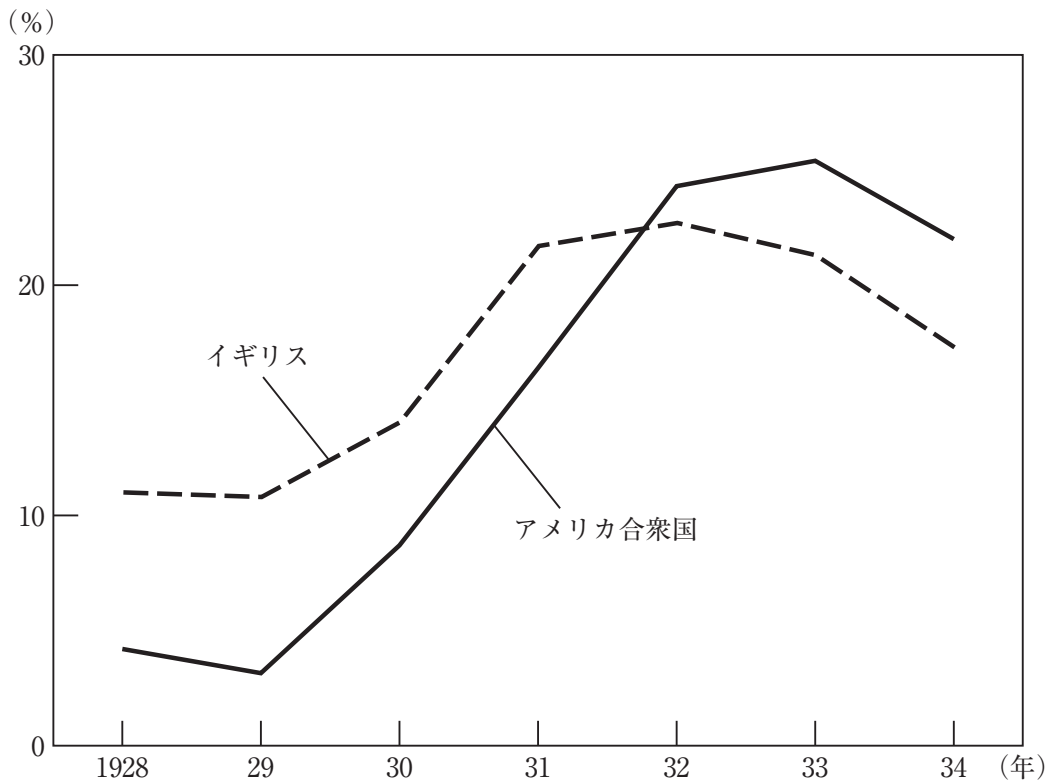
(2) ベンガル管区を中心都市の名と、次の地図中におけるその位置 a, b の組み合わせとして正しいものを、下の①～④の中から一つ選びなさい。



- ① カルカッタ－a
- ② カルカッタ－b
- ③ デリー－a
- ④ デリー－b

- (3) 中国においてイギリスの租借地だった地域として正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。
- ① 膠州湾 ② 旅順・大連 ③ 広州湾 ④ 新界
- (4) 第一次世界大戦について述べた文としてもっとも適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。
- ① ブルガリアが、同盟国側で参戦した。
② イタリアが、三国協商を離脱した。
③ ドイツ軍が、タンネンベルクの戦いで敗れた。
④ アラブ人に独立を約束するバルフォア宣言が出された。
- (5) ビルマ（ミャンマー）の歴史について述べた文として誤っているものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。
- ① タウンゲー朝が、モン人によって倒された。
② タキン党が、スカルノの指導下で独立運動を展開した。
③ クーデタで、ネ=ウインの軍事政権が成立した。
④ 1990年代に、ASEANに加盟した。

- (6) 次のグラフは、1928年から1934年にかけてのイギリスとアメリカ合衆国の失業率を示している。このグラフを参考にしつつ、世界恐慌について述べた下の文(a)と(b)の正誤の組み合わせとして正しいものを、さらに下の①～④の中から一つ選びなさい。



(a) 第2次マクドナルド内閣が成立した年から翌年にかけて、イギリスの失業率が低下した。

(b) アメリカ合衆国の失業率をもっとも高かった年に、フランクリン=ローズヴェルトが大統領に就任した。

- ① (a)－正 (b)－正
- ② (a)－正 (b)－誤
- ③ (a)－誤 (b)－正
- ④ (a)－誤 (b)－誤

- (7) チャールズ2世の時代のイギリスについて述べた文としてもっとも適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。
- ① 権利の請願が提出された。
 - ② 第1次イギリス=オランダ戦争が起こった。
 - ③ 審査法が定められた。
 - ④ 権利の章典が定められた。
- (8) スペイン内戦について述べた文としてもっとも適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。
- ① 社会党のブルムを首相とする人民戦線内閣が成立した。
 - ② イギリスが、不干渉政策（非介入路線）を採った。
 - ③ ヘミングウェイが、フランコ側を支援した国際義勇軍に参加した。
 - ④ ピカソが、ソ連空軍の爆撃を題材として「ゲルニカ」を描いた。
- (9) 20世紀前半のソ連の歴史について述べた文としてもっとも適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。
- ① 一国社会主義を主張するトロツキーが追放された。
 - ② 第1次五か年計画に代えて、ネップが開始された。
 - ③ 集団農場（ソフホーズ）や国営農場（コルホーズ）の建設が強行された。
 - ④ 独ソ不可侵条約と、それに付属する秘密議定書が結ばれた。
- (10) モロッコの歴史について述べた次の文(a)と(b)の正誤の組み合わせとして正しいものを、下の①～④の中から一つ選びなさい。
- (a) ドイツが、モロッコ事件を起こした。
 - (b) 第二次世界大戦後に、イギリスから独立した。
- ① (a)－正 (b)－正
 - ② (a)－正 (b)－誤
 - ③ (a)－誤 (b)－正
 - ④ (a)－誤 (b)－誤

(11) 第二次世界大戦について述べた文として誤っているものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

- ① ドイツが、ハンガリーを自陣営に引き入れた。
- ② ペタンが、ロンドンに自由フランス政府を作った。
- ③ ポルトガルは、中立を維持した。
- ④ イタリアのバドリオ政権が、連合軍に無条件降伏した。

(12) ナポレオン=ボナパルトについて述べた次の文(a)～(c)が、年代の古いものから順に正しく配列されているものを、下の①～⑥の中から一つ選びなさい。

- (a) 皇帝に即位した。
- (b) フランス銀行を設立した。
- (c) 大陸封鎖令を発した。

- ① (a)→(b)→(c)
- ② (a)→(c)→(b)
- ③ (b)→(a)→(c)
- ④ (b)→(c)→(a)
- ⑤ (c)→(a)→(b)
- ⑥ (c)→(b)→(a)

(13) 冷戦について述べた次の文(a)～(c)が、年代の古いものから順に正しく配列されているものを、下の①～⑥の中から一つ選びなさい。

- (a) トルーマン=ドクトリンが発表された。
- (b) オーストリアが、中立国として独立を回復した。
- (c) 中ソ友好同盟相互援助条約が結ばれた。

- ① (a)→(b)→(c)
- ② (a)→(c)→(b)
- ③ (b)→(a)→(c)
- ④ (b)→(c)→(a)
- ⑤ (c)→(a)→(b)
- ⑥ (c)→(b)→(a)

- (14) チャーチルが参加していたが、途中でアトリーと交替した会談として正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。
- ① カイロ会談
 - ② テヘラン会談
 - ③ ヤルタ会談
 - ④ ポツダム会談
- (15) 21世紀に起こった出来事について述べた文としてもっとも適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。
- ① マカオが、中国へ返還された。
 - ② 東ティモールが、マレーシアから独立した。
 - ③ チェコスロヴァキアが、チェコとスロヴァキアに分離した。
 - ④ G20 初の首脳会議が開催された。

